

科目名	*プログラミング I		
担当教員	藤崎 渉		
対象学年	2年	クラス	[082]
講義室	パソコン教室 I	開講学期	前期
曜日・時限	火3	単位区分	必
授業形態		単位数	2
準備事項			
備考			
講義概要/Class Outline	<p>コンピュータを用いた情報処理とプログラミングの基本についてC言語を用いて学習する。 (達成目標) ・問題を論理的に分析し、コンピュータで実行可能な段取りを考えることができる。 ・その段取りを基本的なC言語で表現(プログラム)できる。</p>		
講義計画/Class Structure	回	内容	
	1	ガイダンス 受講上の注意、パソコンと開発環境の使用法を説明する。	
	2	画面への出力 printf文を用いて文字列を画面表示する方法を説明し、プログラム演習を行う。	
	3	変換仕様 変換仕様(%d,%f,%c)について説明し、プログラム演習を行う。	
	4	変数とその表示 変数の使い方と種類、printf文を用いた変数の値の表示方法を説明し、プログラム演習を行う。	
	5	キーボードからの入力 scanf文を用いてキーボードから入力された数値を変数に取り込む方法を説明し、プログラム演習を行う。	
	6	式と演算子 プログラム内の計算で用いられる基本的な演算子を説明し、プログラム演習を行う。	
	7	中間試験1 第5回までの内容について中間試験を行う。	
	8	型変換 異なる型のデータ間の演算を説明し、プログラム演習を行う。	
	9	if文 if文を用いて条件によりプログラムを分岐させる方法を説明し、プログラム演習を行う。	
	10	中間試験2 第8回までの内容について中間試験を行う。	
	11	for文 for文を用いて繰り返し処理を行う方法を説明し、プログラム演習を行う。	
	12	while文 while文を用いて繰り返し処理を行う方法を説明し、プログラム演習を行う。	
	13	配列 配列の使用法を説明し、プログラム演習を行う。	
	14	switch文 switch文を用いて条件によりプログラムを分岐させる方法を説明し、プログラム演習を行う。	
学習・教育目標/Class Target	(E)コンピュータによる情報処理の基礎を理解し、応用できる能力を身につける		
評価基準/GradingCriteria	評点(100点満点)のうち60点以上を合格とし、60~69点を可(C)、70~79点を良(B)、80~89点を優(A)、90~100点を秀(S)とする。ただし、03TM以前の受講者については80~100点を優(A)とする。		
評価方法/Grading Method	中間試験1(20%)、中間試験2(20%)、期末試験(60%)で評価する。		
受講上の注意/Class Rules	毎回の講義に出席して、演習課題を確実に理解すること		

受講制限/Prerequisite	
関連する科目/Related Class	プログラミング II;
教科書/Text	著者名 高橋麻奈
	著書名 やさしいC
	出版社名 ソフトバンク
	ISBNコード ISBN978-4-7973-4366-3
指定図書/Assigned Books	
参考文献/Bibliography	

